



スターバックス × 霧島酒造コラボレーションプロジェクト
「KIRISHIMA GREENSHIP icoia」が 1 月 27 日について開業！
都城の豊かな自然を心と体で感じられる、みんなの“いこい”の場



スターバックス コーヒー ジャパン 株式会社[本社所在地:東京都品川区、代表取締役最高経営責任者(CEO):森井久恵]と、霧島酒造株式会社[本社:宮崎県都城市、代表取締役社長:江夏邦威]は、都城の豊かな自然を楽しみ、人々が集い、憩う施設、「KIRISHIMA GREENSHIP icoia(キリシマ グリーンシップ イコイア)」を 2026 年 1 月 27 日(火)に開業いたします。



【KIRISHIMA GREENSHIP icoia 外観】

「KIRISHIMA GREENSHIP icoia」は都城の風土に調和した建築が訪れた皆様をお迎えし、周囲に広がる豊かな自然とともに、ここだけの“いこい”の時間を過ごしていただける、都城の新たな場所です。施設には植物園、スターバックスの店舗、霧島酒造直営の「KIRISHIMA LIFE STORE ipomea(キリシマ ライフストア イポメア)」のほか、屋上庭園、芝生エリアを設けており、何度も訪れたくなる楽しみが詰まっています。自然環境にも配慮し、植物園では、焼酎造りで発生する蒸留温排水の熱エネルギーを活用するほか、施設で使用する電力は「サツマイモ発電^(※1)100%」で運営。都城市内のスターバックス 2 店舗から出るコーヒー抽出後のコーヒーかすも icoia の電力となるサツマイモ発電に活用することを予定しております。店舗から排出されたコーヒーかすをメタン発酵させて、発電に使う試みは国内のスターバックスとしては初めてとなります。

今後も「KIRISHIMA GREENSHIP icoia」では、「資源の循環と地域とのつながりが生み出す、みんなの“いこい”の場」として、持続可能な未来を目指して、自然環境や地域に前向きなアクションを続けてまいります。

- 施設の構想段階からオープン後のコラボレーション活動まで見据えて取り組んだプロジェクトは 2 社ともに初。
- スターバックスでは、竹の植栽を通るドライブスルーを併設し、束の間の安らぎを感じられるコーヒータイムを。
- 亜熱帯植物が楽しめるガラス張りの植物園には、2 社の源となるさつまいもとコーヒーノキも植栽。
- 建築家・隈研吾氏の「その土地の環境、文化に溶け込む建築」と霧島酒造とスターバックスの想いが融合した、竹をふんだんに使用した自然の恵みを感じられる建築。
- 霧島酒造直営店舗「KIRISHIMA LIFE STORE ipomea」では、「暮らしをアップデートしてくれるような晩酌の相方」をご提案。

■「KIRISHIMA GREENSHIP icoia」にかける想い

2017 年にスターバックスが社内研修で霧島酒造を訪問したことをきっかけに、お互いが取り組む地域や環境についての活動、持続可能な未来への想いが通じ合い、「都城にみんなの憩いの場を作りたい」という想いのもと、2022 年から本格的にコラボレーションプロジェクトを開始。いよいよ 1 月 27 日(火)に「KIRISHIMA GREENSHIP icoia」がオープンします。

スターバックス コーヒー ジャパン 株式会社の代表取締役最高経営責任者(CEO)である森井久恵は「スターバックスは、お客様や地域に潤いと活力を届けるため、一人ひとり、一杯一杯、1 店舗 1 店舗、日々、スターバックス体験を提供してきました。この度、霧島酒造とのコラボレーションによって叶えられるここだけの体験を皆様に届けられることを、大変嬉しく思います。末永く、都城の皆様が気軽に集い、大切な人との楽しい時間を過ごす新たな目的地となることを目指してまいります。ぜひ、お気に入りの一杯を見つけてこの特別な時間をご堪能ください。」と語ります。

霧島酒造株式会社の代表取締役社長である江夏邦威は「スターバックスとのコラボレーションにより、唯一無二のいこいの空間をお届けできることを嬉しく思います。創業から 110 年、霧島酒造は常に都城という地域と共にありました。『いこいに、いこう』とふと立ち寄りたくなるような居場所を、スターバックスと共につくっていきます。これからも都城に根差しながら、明るい未来に向けて力いっぱい漕ぎ出していきます。」と語ります。

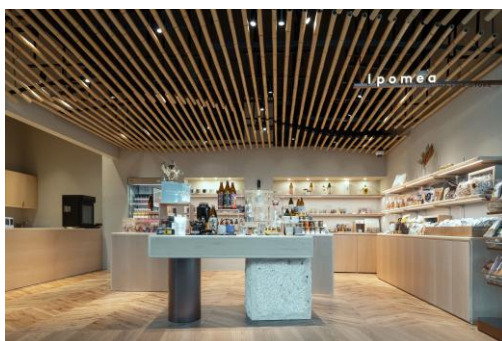
■「KIRISHIMA GREENSHIP icoia」で過ごす“いこい”の時間

「KIRISHIMA GREENSHIP icoia」を手掛けたのは、建築家・隈研吾氏。2 社が大切にしている地域社会と自然環境への想いと、隈氏が大切にしている「その土地の環境、文化に溶け込む建築」の想いが融合したことで、都城の風や光、緑を感じられる建築が実現しました。



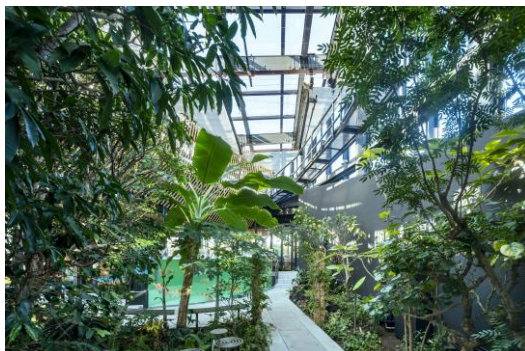
【KIRISHIMA GREENSHIP icoia 内観】

吸い込まれるような意匠が印象的なエントランスから施設に入ると、晒竹(さらしだけ)のゆるやかな曲面の天井が続き、竹本来の温かさが醸し出す開放的な空間が広がります。壁面にはスターバックスのコーヒーかすや九州南部の土壌を形成するシラスが混ぜ込まれた内装ボードを使用し、施設の随所で自然の恵みを感じていただけます。



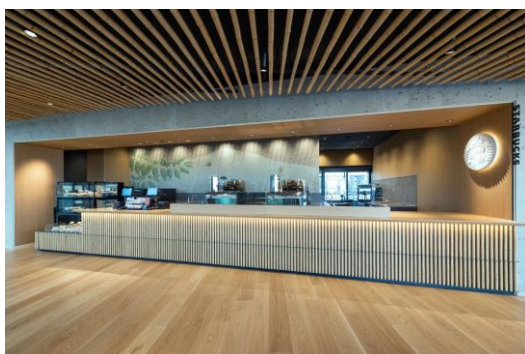
【KIRISHIMA LIFE STORE ipomea】

左手には、霧島酒造の直営店舗「KIRISHIMA LIFE STORE ipomea」が見えてきます。訪れたお客様の暮らしがもっと明るく、もっと自由に、もっと幸せになれるヒントをお届けできるよう、お酒のシーンが楽しみになるような食品や酒器、雑貨などを販売。ご自宅でも憩いのひとときを過ごすことができるアイテムを揃えて、お客様をお待ちしています。



【植物園「めぐりの森」】

右手にはガラス越しに広がる植物園「めぐりの森」があります。亜熱帯植物に囲まれて、ベンチに腰を下ろし、コーヒーを片手にほっと一息つくことができる癒しの空間です。都城盆地の清冽な地下水「霧島裂罅水(キリシマレッカスイ)」を蓄えた大きな水槽には、悠々と泳ぐ錦鯉も。都城では普段見ることができない植物の生き生きとした表情を眺めながら、非日常のひとときを味わうことができます。



【スターバックス コーヒー 都城 KIRISHIMA GREENSHIP icoia 店】

さらに歩を進めると、左手にスターバックスの店舗があります。天井と同じ晒竹の意匠が目を引くカウンターと九州南部のシラスで左官職人が仕上げたサイレンのロゴは、「KIRISHIMA GREENSHIP icoia」ならではの特別仕様。木の温もりを感じられる客席に座り、目の前に広がる雄大な景色を見ながら楽しむ一杯は贅沢なコーヒー体験です。また、都城では初となるドライブスルーを備えており、竹を見ながら進むレーンを抜けてドリンクを受け取る体験は車での時間も憩いの時間へと誘います。

外に出ると、テラス席と芝生エリア「いこいの庭」が広がり、屋内とはまた違った雰囲気、子どもから大人まで思い思いの時間を過ごしていただけます。季節によって様々な表情を見せる樹木や草花も、いこいの時間をさらに豊かなものにしてくれます。



【屋上庭園「見晴らしの丘」】

エントランス横の階段を上った先にある屋上庭園「見晴らしの丘」は、霧島山や沖水川などの都城の雄大な自然を一望できるほか、夕暮れ時には、オレンジ色に染まった空に浮かぶ霧島山と夕陽が織りなす絶景をお楽しみいただける特等席です。隣接する工場から漂うさつまいもや焼酎の香りを時折感じながら憩う時間は、まさに今までになかった唯一無二のひとつです。

■お客様が体感できるエネルギーと資源の循環



【焼酎かすやコーヒーかすを用いたたい肥】

「KIRISHIMA GREENSHIP icoia」では、“いこい”のひとつを楽しめるとともに、さつまいもとコーヒーから生まれたエネルギーの循環を感じいただけます。施設全体は「サツマイモ発電 100%」で運営。都城市の再生利用業指定制度^(※2)を申請し、都城市内のスターバックス 2 店舗のコーヒーかすもメタン発酵させることで、icoia の電力となるサツマイモ発電に活用していく予定です。

また、植物園「めぐりの森」では、焼酎を蒸留する際に発生する温熱を冬場の暖房として再利用することで、年間を通して亜熱帯植物をお楽しみいただけるほか、駐車場には実際にサツマイモ発電の電力が給電できる EV 充電スタンドも完備。これらにより「KIRISHIMA GREENSHIP icoia」では、さつまいもやコーヒーから生まれるエネルギーを施設の“温度”や“電気”としてお客様に体感いただけます。さらに、両社の強みを生かした地域社会や自然環境に前向きなアクションとして、事業活動により排出されるコーヒーかすや焼酎粕を用いた「たい肥づくり実験」を実施。完成したたい肥でどんぐりの苗木を育成し、将来的には植林するなど、これらの活動を地域の循環に繋げていきます。今後も「KIRISHIMA GREENSHIP icoia」を拠点に、お客様にも参加いただきながら未来につながる活動を続けていきます。

■さいごに

スターバックスは『「最高」のコーヒー体験を届けるかけがえのない存在となり、人々の心を豊かで活力あるものにするために ―ひとりのお客様、この一杯、そしてひとつのコミュニティから』を大切に、地域とのつながりを育み、日本全国に個性豊かな店舗づくりをしてきました。霧島酒造とともに、サステナブルな未来を目指し、自然環境や地域に前向きなアクションを続け、日々の地域とのつながりを大切にしながら、お客様一人ひとりの日常に彩りを添える時間を提供できるよう歩んでいきます。

霧島酒造は「地域に根ざし、地域と共に発展する企業」として、都城の地で焼酎造りを始めて、今年で創業 110 周年の節目を迎えます。これからも持続可能な焼酎造りを行っていくためには、地域社会や自然環境との共生が必要不可欠です。これから霧島酒造が次なる歴史の 1 ページを築いていくために、ここ「KIRISHIMA GREENSHIP icoia」から生まれる明るい未来を大切に育んでまいります。

※1: 焼酎粕や芋くずから生成したバイオガスを電気に変換してつくられる、霧島酒造の再生可能エネルギー
※2: 事業系一般廃棄物を再生利用することが確実な場合に、収集運搬を行う業者には「一般廃棄物再生輸送業」の指定を、再生活用を行う業者には「一般廃棄物再生活用業」の指定を、市が個別に行うことができる制度

■建設概要

場 所	霧島酒造 本社増設工場北側
住 所	宮崎県都城市下川東 4 丁目 5869 番 8
建 物 構 造	鉄筋コンクリート造 一部 鉄骨造・鉄骨鉄筋コンクリート造 1 階建て
敷 地 面 積	4,686 ㎡
延 べ 床 面 積	712 ㎡
営 業 時 間	スターバックス店舗・芝生エリア「いこい庭」7:30～22:00 植物園「めぐりの森」・屋上庭園「見晴らしの丘」9:00～19:00 霧島酒造直営店舗 KIRISHIMA LIFE STORE ipomea10:00～19:00
客 席 数	73 席（施設屋内:57 席、テラス:16 席）
駐 車 場	第 1 駐車場 35 台 第 2 駐車場 30 台
定 休 日	不定休
オープン日時	2026 年 1 月 27 日(火) 10:00

◆ スターバックス コーヒー ジャパン 株式会社 <https://www.starbucks.co.jp/>
スターバックス コーヒー ジャパン 株式会社は、1996 年に東京・銀座に日本第 1 号店を開業。全世界約 80 のマーケットで約 37,000 店舗以上、日本全国 47 都道府県において 2,105 店舗（2025 年 12 月末時点、ライセンス店舗を含む）のコーヒーストアを展開しております。約 6 万人のパートナー（従業員）が、一杯のコーヒーを通じて、人と人とのつながりと心あたたまるひとときを提供しております。2019 年 2 月 28 日には、世界 5 拠点目となる「スターバックス リザーブ® ロースタリー 東京」をオープンしました。全国に広がる、人・社会、地球環境、地域とつながりを育むストーリーは、「[STARBUCKS STORIES JAPAN](#)」で紹介しております。